

## イベント 一日限定の「白鳳 Café」

うえせん白鳳プラザでは、空き店舗の有効活用推進の一環として、県立伊賀白鳳高等学校の実習品の展示・販売を行います。

今回はオープニングとして、パティシエコースの生徒による「白鳳 Café」と7学科13コースの実習内容の展示、実習品の販売などを1日限定で行います。

【とき】 12月15日(土)

午前10時～午後4時

※注文は午後3時30分までです。

販売品は数に限りがあります。

【ところ】

うえせん白鳳プラザ 1階  
(上野東町2957)

【内容】

- 食品システム科：ケーキと飲物販売(店内のみ。持ち帰れません。)・焼き菓子とジャムの販売
- 機械科・電子機械科：実習作品展示
- 工芸デザイン科：作品展示と皮アークセサリーなどの販売
- 生物資源科：農産物・観葉植物などの展示、販売
- 経営科：販売促進チラシ制作など
- ヒューマンサービス科：バルーンアートの実演制作・頒布

【問い合わせ】

三重県立伊賀白鳳高等学校  
☎ 21-2110  
中心市街地推進課  
☎ 22-9825 FAX 22-9628

## イベント クリスマスコンサート

【とき】 12月22日(土)

午後3時～5時

(開場：午後2時30分)

【ところ】 島ヶ原会館ふれあいホール

【内容】 アンサンブル「アイゲンアート」による木管五重奏と歌、会員によるハンドベル演奏など、クリスマスならではのコンサートを楽しみませんか？カントリーダンスも楽しめ、演奏者との茶話会もあります。

【問い合わせ】 国際交流協会事務局

☎ 22-9629

企画課

☎ 22-9621

FAX 22-9628



## お知らせ 消火栓や防火水槽の付近は 駐車禁止です

消火栓や防火水槽などの消防水利の周辺は、法律で駐車が禁止されており、違法駐車は一刻を争う消火活動の妨げになります。

また、道幅の狭い道路における駐車車両は、消防車両の通行の妨げになり、消防隊・救急隊の現場到着が遅れる原因になります。

日ごろから、消防・救急活動の支障となる駐車をしないよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

**消防水利付近の主な駐車禁止場所**

- ①消火栓の周囲5m以内
- ②防火水槽の周囲5m以内
- ③指定消防水利(プール・池など)の標識から5m以内

【問い合わせ】

中消防署  
☎ 24-9107 FAX 24-3544  
東消防署  
☎ 45-3100 FAX 45-4468  
南消防署  
☎ 52-1151 FAX 52-0602

## お知らせ 家屋一棟調査業務に伴う 家屋現地調査

今年度から平成28年度まで、市内全域を対象に家屋一棟調査業務を行っています。

これは、増改築や未調査による課税漏れ、または取り壊しなどがある家屋を調査し、すでに課税している家屋との公平を期し、公正で適正な課税を行うものです。現地調査では市が委託した専門業者が、身分証を着用し公道から家屋の確認を行います。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

【調査期間】

平成24年4月～平成29年3月

【調査業者】

(株)ジオフォーラム

【調査区域】

市内全域

※未調査の家屋を確認した場合、後日日程を連絡し、市職員が改めて調査に向う場合があります。

【問い合わせ】 課税課

☎ 22-9614 FAX 22-9618

## 募集中 “うえのまちのええところ” フォトコンテスト



2月～8月期優秀賞  
忍び電車、只今参上  
服部巧さん(津市)



うえのまちまちづくり協議会では、あなたが残したい“うえのまち”の写真を募集しています。

古きよき「まちなみ」、ふと気付いた新たなまちなかの魅力、うえのまちの歴史、まちの息づかい、季節を感じられる写真などたくさんのご応募をお待ちしています。



【応募方法】 写真に応募票を添付して郵送または持参してください。詳しくは中心市街地推進課・各公民館(上野・いがまち・島ヶ原・阿山・大山田・青山)・地区市民センターなどにある募集パンフレットをご覧ください。市ホームページからもダウンロードできます。

【応募期限】 12月28日(金)

【応募先・問い合わせ】 〒518-0869

伊賀市上野中町2976番地の1 ふれあいプラザ2階 伊賀市建設部中心市街地推進課内 うえのまちまちづくり協議会事務局

☎ 22-9825 FAX 22-9628

**募集 介護予防支援に従事する  
業務嘱託員の募集**

**【対象者】**

次のいずれかに該当する人で、普通自動車運転免許を持っている人  
 ○保健師免許を持っている人  
 ○介護支援専門員資格を持っている人  
 ○社会福祉士資格を持っている人  
 ○看護師免許を持ち、地域ケア・地域保健に関する実務経験がある人（准看護師は除く。）

**【募集人数】** 1人

**【採用予定日】**

1月1日（1月4日より勤務）

**【勤務場所】** 地域包括支援センター

**【勤務時間】** 週4日（平日）

午前8時30分～午後5時15分

**【勤務内容】**

要介護状態区分の要支援1・要支援2と認定された人の介護予防サービス計画の作成（利用者の居宅・関係機関の訪問を含む。）

**【報酬】** 21万円以内/月

**【提出書類】**

履歴書（写真添付）・必要な資格を証明する書面の写し

**【申込方法】** 郵送・持参

**【申込期限】** 12月14日（金）※必着

**【申込先・問い合わせ】**

〒518-8501

伊賀市上野丸之内116番地

伊賀市健康福祉部

地域包括支援センター

☎ 26-1521 FAX 24-7511

**募集 子どもについて  
一緒に考える集い**

～みえの子育ちサポート出前講座～  
 子育てには悩みや疑問が多いものです。誰かに聞いてもらうだけでスッキリするのにひとりで抱え込んでしまっていることはありませんか。

知識を共有したり、ざっくばらんに話し合いをしたり、ともに考えましょう。

**【とき】** 2月2日（出）

午後1時10分～4時

**【ところ】** ゆめぼりすセンター 2階大会議室など

**【対象者】** 就学前から小学校低学年までの保護者

**【講師】** ジェニアップコーチング

代表 葛巻 直樹さん

**【定員】** 40人

**【募集期限】** 1月10日（木）

**【申込方法】** 事前に電話でお申し込みください。

※託児があります。（定員10人、先着順）

**【申込先・問い合わせ】** 生涯学習課

☎ 22-9679 FAX 22-9692

**ご意見をお聞かせください**

広報いが市・行政情報番組（ウィークリー伊賀市・文字放送）について、ご意見・ご要望をお聞かせください。

**【問い合わせ】** 秘書広報課

☎ 22-9636 FAX 22-9617

**大判「防災カルタとり大会」**

A4判の大きな絵札を使ってカルタとりをします。

募集した標語と伊賀地域の中学校・高等学校美術部の協力により作成した絵札の防災カルタです。

皆さんもカルタとりをしながら防災について考えてみませんか？

**【とき】** 12月25日（火）

午前10時30分～

**【ところ】** 青山ホール

**【対象者】** 小学生

**【定員】** 35人 ※先着順

**【申込受付開始日】** 12月3日（月）

**【申込方法】**

電話またはFAXでお申し込みください。FAXの場合は、住所・氏名・電話番号・学年を記入してください。

**【申込先・問い合わせ】**

青山公民館

☎ 52-1110

FAX 52-1211



**市内の事業者を探すなら！**

インターネット検索サイトで

**いがパートナーねっと**

**検索**

～求人・雇用情報も掲載中～

■問い合わせ 商工労働観光課

☎ 43-2306

**明日に 向かって**

～差別をなくしていくために～

**グアテマラの英雄** —スポーツ振興課—

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話をしています。

今年は、4年に1度のオリンピックの年でした。国を代表する超一流のアスリートたちが人間の限界をめざして勝負に挑む姿は、わたしたちに勇気と感動を与えてくれました。そして、選手たちの発言に、深い感銘を受けた人も数多くいたはずで

す。今大会で、最も強く心に残った言葉があります。グアテマラに初の五輪メダルをもたらした男子20キロ競歩の銀メダリスト、エリック・バロンド選手が試合後のインタビューに答えたときのことで

す。「この銀メダルがグアテマラの子どもたちに勇気を与え、彼らが銃やナイフを置き、その代わりにトレーニングシューズを手にとってくれればいい。そうなったら自分は世界一の幸せ者だ。」

この言葉を聞いて、皆さんはどう思い、そして、どう感じますか。彼は、勝者としての自分をアピールするのではなく、自国の人々への思いを語りました。世界のどこかで、今も戦争や紛争が続き、多くの人間が

傷付け合い、命を落としています。心の傷もどれほどのものであるか、計り知れません。同じ人間であるのに、生まれた国が違うだけでおかれる状況も立場もまったく違うのです。

かつては、日本も戦争をしていた国です。それだけに日本人は、戦争がどんなにひどく人を苦しめ続けるものであるか、二度と起こしてはいけないものであるということを幼いころから学び、平和がどれほど尊いものであるかということを知っています。

ときに、国々の主張が食い違うのは当然ですが、それを「戦争」という戦いにしてはいけないのです。国籍などさまざまな違いを乗り越えフェアプレーで理解し合うという基本精神にのっとり、「オリンピック」という平和な戦いもあるのだということをも再認識することも大切なのではないのでしょうか。

世界中の人たちが彼の言葉に耳を傾け、何かを感じ、行動に移すことを心から願います。